



かがやき

山形市立第一小学校
学校だより 第5号
R2.8.28発行
校長：田所 昭裕
児童数 227名
(8月19日現在)

工夫しながら新しい学校生活を楽しもう！

学校に、元気な子供たちの声が戻ってきました。ちょっと短い夏休みでしたが、大きな事故やけがの報告もなく、笑顔で再会できたことを、うれしく思います。

最初の登校日となった19日(水)の全校朝会では「工夫しながら新しい学校生活を楽しもう！」と題して話をしました。

大切にしたいポイントは、次の2点です。

- ①よく考える 「わたし」⇒一人一人が主体的に学ぶ
- ②仲間と知恵を出し合う 「たいわ」⇒豊かな対話がはずむ

悔しいですが、感染リスクがゼロにならない状況下では、できないことを嘆いていても前に進みません。ここは発想を切りかえて、工夫しながら「わくわく」する学校生活を送っていこうと提案しました。



新しい学校生活を楽しもう



新しい学校生活を楽しもう



わくわくする学校生活

生活リズムを整えよう！

夏休みの生活のふり返りとして、子供たちに次の5点を尋ねてみました。

- ①(丁寧な)手洗い
- ②(必要な時の)マスク着用
- ③早寝 早起き 朝ごはん(毎日の検温)
- ④家族のための手伝い(仕事)
- ⑤進んで学習(ふり返り、観察、得意なことへのチャレンジ)

自信を持って手を挙げていた子供が多かった反面、下を向いてしまった子供も見受けられました。学校が始まって約10日、今週はすこやかカードを使って生活リズム調査も行いました。この週末にメディアコントロールも含めてもう一度ご確認ください。まだまだ暑い日が続きます。熱中症対策も取りながら、週明けには笑顔でスタートできるように、目を配ってあげてください。

オリジナル花笠が祭りの雰囲気



「ハナサクヤマガタ」事業の一環として7月にペア学年で作ったオリジナル花笠がこの夏近隣の商店街に飾られ、街に彩りを添えました。

例年のように花笠パレードで踊ることはできませんでしたが、オリジナルの花笠を作りながら祭りへの思いを交流し雰囲気を味わうことができました。発想の転換で表現の仕方を工夫した取り組みですね。中心となって進めてくれた6年生の実行委員の子供たちからは、「6年生が踊って下級生に伝えることで、来年に活かして欲しい!」との声も出ています。来年は、中学生になった先輩の飛び入り参加もあるかもしれませんね。そんなことを考えると、わくわくしてきます。今後の展開が楽しみです。

学校生活を楽しむための工夫

臨機応変の対応が求められる中、今年度のクラブ活動は「この指止まれ」方式で進めることにしました。第1回目は先生方が子供たちの前でプレゼンテーションして、集まった仲間と一緒に活動しました。内容が明確なので子供たちは活動に没頭することができたようです。「楽しかった。」「もっとやりたい!」との声がたくさん聞かれました。次回は、6年生が中心となってプレゼンテーションをする予定です。どんなプランが出てくるか、今から楽しみです。「参加型」を基本に、準備に時間をかけないで活動に集中できるようにするのも工夫のひとつですね。



チーム「打 毬」



チーム「ピタゴラスイッチ」



チーム「ギター」

夢中になって楽しむクラブ活動

奨学会でも8月5日(水)に臨時拡大評議員会を開催しました。10月の運動会で予定していた奨学会種目と球技大会に代えて、10月17日(土)に親子で楽しむ参加型「スタンプウォークラリー」を開催することが決まりました。感染予防のためのソーシャルスキルを親子で確認することも、目的のひとつに加えることになりました。

このような中でも子供たちのために関連に議論し合う奨学会の皆さんの姿が、手本となって子供たちの創意工夫につながるものと信じています。こちら、楽しみです。